

生涯健康科学ジャーナル(Journal of Lifelong Well-being Sciences)投稿要項

令和5年7月13日制定

令和8年7月1日改訂

1 趣旨

生涯健康科学ジャーナル（以下「本誌」という。）は、人々が生涯健康であり続けるために、生命科学と人文社会科学の異分野にわたる学際的な研究成果を国内外に発信する学術誌であり、生涯の健康に携わる多様な分野の実践知、あるいは研究成果により、安全安心な質の高い人々の社会に貢献できることを目的とする。

2 投稿資格

投稿者は、本学教職員及び学生、又は本学教職員の推薦がある者で本誌の趣旨に賛同する者とする。

3 掲載論文

掲載できる論文は、以下の項目に該当するものとする。

- (1) 生涯健康科学の知識の発展に貢献する研究論文であり、オリジナルなデータ若しくは分析に基づいた知見と実践への示唆が論理的に述べられているもの。
- (2) 生涯健康科学に関わる問題や話題のうち、議論が交わされつつあるものについて今後の方向性を指し示すような著述や提言であるもの。
- (3) 生涯健康科学にかかわる研究として迅速に公表する意義があるもの。

4 執筆要領

- (1) 論文は、次の種類に分類する。

ア 論文 (Research Paper)

生涯健康科学の知識の発展に貢献する研究論文であり、オリジナルなデータ若しくは分析に基づいた知見と実践への示唆が論理的に述べられた著述であって、独創性、新規性、発展性のあるもの。

イ 解説・総説 (Review)

生涯健康科学に資する研究論文等の著作物の概要や評価をまとめて記述するもの。

ウ 症例報告 (Case Report)

生涯健康科学に資する、疾患の症状や疾病の兆候、診断、治療、経過観察などに関する詳細報告。

エ 実践報告 (Practical Report / Activity Report)

生涯健康科学に資する、教育現場、医療・福祉の現場、地域連携プロジェクトなどでの活動記録。

オ 調査報告 (Survey Report)

生涯健康科学に資する、アンケート調査やフィールドワークの結果を速報的にまとめたもののうち資料的価値が高いもの。

カ その他

生涯健康科学ジャーナル編集委員会(以下、「編集委員会」という。)からの依頼原稿など。

- (2) 論文は日本語とし、1 ページ目には、論文の種類、表題（日本語と英語の併記）、著者名、所属、日本語キーワード（3～5 語）を記載する。
- (3) 論文は、本文の前に日本語（400 字以内）と英語（250words 以内）の要約を記載する。
- (4) 共著者は、その論文の内容に責任をもつ協力者に限られる。単なる補助者、部分的協力者は、共著者とはせず、必要であれば脚注又は謝辞において氏名を明記する。
- (5) 原稿は常用漢字、現代仮名遣いを用い、横書きとし、数字は算用数字、年号は西暦を用いる。
- (6) 本文の長さは、種類を問わず、図、表、引用文献、英文要約、キーワードなどを含み、A4 用紙（縦置き）で 20 頁以内とする。ただし、編集委員会において特に必要と認めた場合はこの限りではない。
- (7) 本文は A4 サイズ(幅 210mm×高さ 297mm)、1 ページ 28 行とする。
- (8) 本文の文字は、MS 明朝体 12 ポイントとする。表題は、MS ゴシック体 12 ポイント、副題がある場合は 12 ポイントとする。章節項等の見出し及びキーワードは、これに含まれる半角英数字を含め、MS ゴシック体 12 ポイントとする。
表題や見出し、表や図のタイトル以外の本文中の英数字は、Times New Roman 12 ポイントとする。
- (9) 句読点は、全角の句点マル（。）と読点テン（、）とする。
- (10) 表題は、できるだけ簡潔に付けることが望ましい。一連の研究の場合でも、番号の異なる同一表題は好ましくない。
副題は、全角 2 倍ダッシュ（——）を前後に付ける。
- (11) 章節項等の見出しの上は 1 行空ける。また、本文は、見出しの後に行を空けずに記述する。
- (12) 見出しには、算用数字（半角）で番号を付ける。

見出しの中項目以降の表記はピリオド（半角）を付して、適宜番号を増やす形で構成する。小見出し以下の数字の横には見出しの内容との間に全角スペースを 1 つ入れる。見出し内の英数字には半角を用いる。

(例)	1. 見出し abc123
	1.1 小見出し abc123
	1.2 小見出し abc123

- (13) 表や図の番号は、表 1、図 10（番号は半角数字）のように振る。番号を振った表の題は表の上の中央に置き、番号を振った図の題は図の下中央に置く。表や図の題は MS ゴシック体 12 ポイントとする。
- (14) 表や図の題はできるだけ簡潔にし、表や図の説明文は本文中に記載する。
- (15) 表や図は鮮明なものをを用いることとし、本文に比べて大きな紙面を要するため、厳選し、必要なもののみを効果的に使用する。
- (16) 表や図の作成に当たってはカラー又はグレースケールで作成する。また、大外の枠、外枠、背景色、目盛線は付けない。
- (17) 表中の線はできるだけ少なくし、適当にスペースをとる。縦罫は最小限として、斜線は用いない。
- (18) 表の項目は、左揃えとする。数値は、有効数字を考慮して表記する。また、数字は小数点の位置、小数点以下の桁数を揃える。
- (19) 写真は、図と同様に扱う。写真を掲載する場合には、個人が特定できないものを使用する。
- (20) ポートレートは、被写体に了解が得られた場合のみ、掲載する。
- (21) 外国の人名、地名などの固有名詞は、原則として原語を用いる。
- (22) 注は、本文中、引用箇所の直後に^{注 1)} 右上付きで記入し、本文末尾に出現順にまとめて記載する。
- (23) 参考文献は、必要最小限にとどめ、本文中、引用箇所の直後に¹⁾ 右上付きで記入し、注の後に一括して出現順に付しまとめて記載する。同じ文献を複数回引用する場合、先の番号を用いて記載する。
- (24) 文献の記載方法は、原則として次のとおりとする。共著者名はすべて省略せずに明記する。
- ア 雑誌論文（日本語）：著者名（西暦年）「題目」『掲載誌名』巻（号），始頁－終頁．
- イ 書籍（日本語）：著者名（西暦年）『書名』，pp. 始頁－終頁，出版社（者）
- ウ 書籍の特定の章（日本語）：著者名（西暦年）「章名」（書籍の著者・編者名）『書名』出版社（者），pp 始頁－終頁．
- エ ウェブサイト（日本語）：著者（作成者）名（西暦年）『サイト名』（URL）
（最終アクセス日：西暦年〇月〇日）
- オ 雑誌論文（英語）：著者名（西暦年），題目，雑誌誌名，巻（号），始頁－終頁
原則として、標記されたとおり記述すること。掲載誌名および巻はイタリック体とする。
- カ 書籍（英語）：著者名（西暦年），書名，出版社（出版地）
原則として、表記されたとおり記述すること。書名はイタリック体とする。

キ 書籍の特定の章（欧語）：著者名（西暦年），章名，書籍の著者・編者名，書籍名，pp. 始頁－終頁，出版社（出版地）

原則として、表記されたとおり記述すること。書籍名はイタリック体とする。

ク ウェブサイト（英語）：著者（作成者）名（西暦年），サイト名，URL（Accessed：西暦年一月一日）

原則として、表記されたとおり記述すること。サイト名はイタリック体とする。

（例） 1）県大太郎（2001）「表題」『雑誌名』巻（号），pp. ○-○，出版社（者）。

5 研究倫理

- (1) 投稿論文の内容は、他の出版物（国内外を問わず）に既に発表あるいは投稿されていないものに限る。重複投稿は禁止する。インターネット上で全文公開されている内容（機関リポジトリにおける学位論文の全文公開を含む）は、既に発表されたものとみなす。
- (2) 人及び動物が対象である研究は、倫理審査を受審し、その承認を得ていること。
- (3) 投稿論文の著者は、投稿論文に対し、研究の着想、デザイン、又はデータの入手、分析、解釈に重要な貢献をした者、あるいは、論文の作成に関与し、論文の内容について責任を負うことができ、研究への十分な参加をしている者とする。
- (4) 投稿論文の内容について公平かつ適正な判断のために、著者全員の利益相反状態を適正に開示する。

6 投稿手続・方法

- (1) 論文の投稿は電子メールの添付ファイルとして提出すること。
投稿メールアドレス：LifelongWell-being@u-shizuoka-ken.ac.jp
- (2) Word ファイルでの提出を推奨する。フォントは 12 ポイントの MS 明朝・ゴシック（和文）あるいは Times New Roman（英文）のフォントを用い、数字はすべてアラビア数字を使用すること。すべてのファイルには、A4（幅 210 mm×高さ 297 mm）用紙でのページ設定とし、1 ページの行数を 28 行とすること。
- (3) そのほか「4 執筆要領」に沿って作成した論文とともに、下記の書類をメール添付で提出すること。
 - 投稿要項 様式 1 投稿論文添付票
 - 投稿要項 様式 1-2 推薦書（著者が本学の教職員及び学生以外の者の場合のみ提出）
 - 投稿要項 様式 2 論文チェックリスト
 - 投稿要項 様式 3 利益相反（COI）申告書（投稿論文の全ての著者について、それぞれ申告書を提出すること。）

7 論文の受付及び採否

- (1) 投稿論文の受付日は、論文が専用メールアドレスで受信された日とする。ただし本誌投稿要項に従っていないものは受け付けないことがある。
- (2) 論文の採否は査読を経て編集委員会が決定する。
- (3) 編集委員会の判定により、論文の修正を著者に求めることがある。
- (4) 論文受理後は、著者名（日本語・英語）、所属機関（日本語・英語）、連絡者情報、倫理委員会名称（承認番号）、謝辞、利益相反、著者資格等を明記した本文論文と図表ファイル（MS Word、MS Excel 等）、並びに著者全員が署名した投稿様式4号の著作権譲渡同意書（PDF化したもの）をメール添付で編集委員会あて送付する。

8 著作権

本誌に掲載された論文等の著作権は編集委員会に帰属し、編集委員会の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。最終論文提出時、投稿要項 様式4 著作権譲渡同意書に著者全員が署名し提出する。著者が著作権所有者から許可を得て、投稿時にこれを証明する関連文書を提供する場合にのみ、図及び表又はその他の以前に公開された資料の使用が可能である。

9 著者校正

査読を経て、編集委員会で受理された投稿論文については、著者校正を1回行う。ただし、校正の際には、編集委員会からの加筆・修正依頼以外の著者による加筆・修正は原則として認めない。

最終的な校閲・校正の証明は、メール添付で編集委員会あてに送付する。

10 利益相反

投稿された論文の研究の遂行や出版に影響を及ぼす可能性のある金銭的又は個人的な関係がある場合、利益相反が存在する。本誌には、担当編集委員、査読委員、編集委員会のメンバーと本誌事務局及び著者間の利益相反に関する遵守がある。論文の出版から利益を得る可能性のある企業又は機関と著者との金銭的関係を開示する必要がある。

11 守秘義務

投稿中の論文、又は著者に返送された論文はすべて機密扱いとなる。著者は本誌、編集者及び本誌事務局からの投稿に関するすべての連絡を非開示にすることに同意することになる。査読委員の身元は、査読委員から正式かつ明示的に要請されない限り開示されない。査読委員は、投稿された原稿の機密性を本誌の論文を査読する契約の一部として維持することに同意する。

12 その他

校正や編集において特別な費用を必要とした場合は著者負担とする。

附則

- 1 この要項は、令和8年7月1日から施行する。
- 2 この要項の改廃は編集委員会の議を経て、学長が決定する。

投稿要項 様式1

投稿論文添付票

1 投稿論文の種類（○で囲むこと）

論文	解説・総説	症例報告
実践報告	調査報告	その他

2 表 題：

3 著 者：

4 和文キーワード（3～5語）：

5 連絡先

(1) 所 属：

(2) メールアドレス：

(3) 電話番号：

令和〇〇年〇〇月〇〇日

生涯健康科学ジャーナル編集委員長 様

(推薦者) 所属 _____
職名 _____
氏名 _____

推薦書

下記の者について、生涯健康科学ジャーナルへの投稿者として推薦します。

記

著者の氏名	
著者の所属	
職名（著者が大学等の学生である場合は学年）	
投稿者と推薦者の関係	
投稿に係る論文の題名	

(推薦者署名) _____

注 著者が本学の教職員及び学生以外の者の場合のみ提出すること。
投稿時に推薦者の署名入りの推薦書（本様式）をPDF化したものをメール添付で編集委員会に提出すること。

投稿論文チェックシート

投稿時に下記項目について確認し、チェック欄に✓をいれる（☑）又は塗りつぶし（■）て、原稿に添付してください。原稿の体裁・様式が投稿要項に則していない場合、投稿を受け付けられない場合もあります。

項 目 確 認 事 項

項 目	詳 細	チェック欄
表題 著者名 要旨 キー ワード	原稿の 1 ページ目に、論文の種類、表題、著者名、所属、和文キーワード 3～5 語を記載している。 論文は、本文の前に、日本語の要約（400 字以内）及び英語の要約（250words 以内）を記載している。	☐ ☐
本文 見出し	本文は Word ファイルを推奨、日本語とし、サイズ A 4 (幅 210mm×高さ 297mm)、1 ページ 28 行	☐
	原稿内のフォント設定が投稿規程に準拠している。 ☐ 日本語表題：MS ゴシック体 12pt ☐ 日本語副題（ある場合）：MS ゴシック体 12pt ☐ 日本語執筆者名及び所属：MS ゴシック体 12pt ☐ 日本語要約文：MS 明朝体 12pt ☐ 英語要約文：Times New Roman 12pt ☐ 日本語キーワード：MS ゴシック 12pt ☐ 本文中の章節項等の見出し：MS ゴシック体 12pt（これに含まれる半角英数字も対象とする。） ☐ 本文の文字：MS 明朝体 12pt。ただし英字及び数字(算用数字)は Times New Roman 12pt とする。	☐
	章節項等の見出しの上は 1 行空けている。 また、本文は、見出しの後に行を空けずに記述している。	☐
	見出しには、算用数字（半角）で通し番号を付けている。	☐
図表	表や図の番号は、表 1、図 10(半角数字)のように振られている。表や図の題は、表は上中央、図は下中央に置いている。表や図の題は MS ゴシック体 12 ポイントになっている。	☐
注・ 文献	注は、本文中、引用箇所の直後に右上付きで ^{注 1)} のように記入し、本文末尾に出現順にまとめて記載している。	☐
	参考文献は、必要最小限にとどめ、本文中、引用箇所の直後に右上付きで ¹⁾ のように記入し、注の後に一括して出現順に付しまとめて記載している。 同じ文献を複数回引用する場合、先の番号を用いて記載している。	☐

投稿要項 様式 3

生涯健康科学ジャーナル利益相反 (COI) 自己申告書

著 者 名 : _____

論文題名 : _____

投稿論文のすべての著者がそれぞれ本申告書を提出すること。

投稿時から遡って過去 1 年以内での発表内容に関する企業・組織または団体（以下「企業等」という。）との COI 状態について記載すること。

項 目	該当の状況	有であれば、著者名：企業名：内容を記載
①報酬・給与等 1 つの企業等から年間 100 万円超の報酬・給与、コンサルタント料、謝金、原稿料等を得ている	有・無	例 静岡太郎：(株)県立大学製薬：報酬 静岡花子：(株)県立大機器：給与
②共同研究等 1 つの企業等から共同研究等を年間 200 万円超受け入れている	有・無	
③物品・サービス等 1 つの企業等から年間 500 万円超の物品・サービスの購入	有・無	
④株式等 1 つの企業等の株式を 8%以上保有している。	有・無	

(本 COI 申告書は論文掲載後 2 年間保管されます。)

申告日 年 月 日

_____(署名)_____

著作権譲渡同意書

「生涯健康科学ジャーナル投稿要項」に基づき、下記の著作物が生涯健康科学ジャーナル編集委員会（以下、「貴委員会」という。）に受理されたとき、以下の事項に同意します。

（知的財産の取り扱い）

第 1 条

- 1 私は、当該著作物について、著作権（著作権法 27 条、28 条の権利も含む。）の帰属が貴委員会にあることに同意します。
- 2 私は、前項に係る著作者人格権の行使の主張をしないことに同意します。

（著作者の権利）

第 2 条

- 1 当該著作物を利用するときは、貴委員会の許諾を得るものとします。貴委員会からの許諾は、事前に書面により申請し取得します。
- 2 著作権法に規定する著作権の制限（著作権法第 30 条から第 50 条）による利用、又は翻訳・翻案による利用に限り、前項の許諾を得ないものとします。ただし、次に掲げる場合には、この限りではありません。
（ア）営利を目的とする場合
（イ）日本国内外の学会誌、学術誌等への二重投稿をする場合
（ウ）その他公正な慣行に合致する範囲を超えている場合

上記事項に同意の上、以下に掲げる論文等の著作権を貴委員会に譲渡することを承諾します。

年 月 日

表 題 :

著者名：（複数の場合、全員を記載のこと）：

所 属 :

掲載誌名： 生涯健康科学ジャーナル（Journal of Lifelong Well-being Sciences）

署 名：（複数の場合、全員分記載するか、全員から権限を委任された代表者）

（用紙が不足する場合はコピーして作成すること）

（所属）

（氏名）